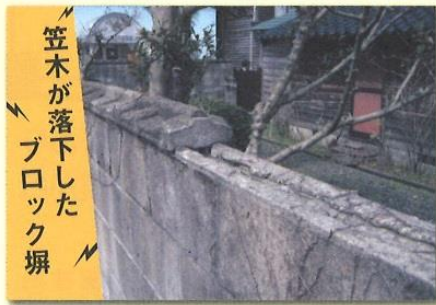


# ブロック塀の安全点検表

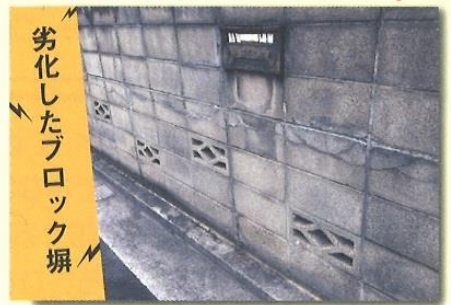
こんな症状はありませんか？



笠木が落下した  
ブロック塀



大谷石が劣化したもの



劣化したブロック塀



明らかに劣化し  
危険なブロック塀



傾いているブロック塀



不適切なブロック塀

こんな症状があると、震災時に転倒や倒壊の恐れがあります。人が死傷したり、救急活動・物資供給の妨げになります。専門家に相談の上、早めの対策をしましょう。

No	点検項目	確認欄	No	点検項目	確認欄
1	建築後15年以上経つ塀ですか？		9	ブロック表面に苔やカビ菌が付着している塀ですか？	
2	高さは1.6m以上ある塀ですか？		10	地面と接する塀の基礎の部分に、ブロックを使用していますか？	
3	高さの途中から新たに積み増しをしている塀ですか？		☆次の場合はすぐに専門家にご相談ください☆		
4	ブロックの厚さは10cmの塀ですか？		1	石垣や大谷石を使った擁壁上のブロック塀	
5	透かしブロックを連続して2個以上使っている塀ですか？		2	ひび割れや亀裂、破損個所が増えてきた塀	
6	控ブロックがない、あるいは少ない塀ですか？		3	ブロック塀が接する樹木や崖の側面が塀の基礎部分を押ししている塀	
7	一番上段の笠木が壊れたり、欠けたりしている塀ですか？		4	見ただけでブロック塀の傾きが判る塀	
8	鉄筋が露出している所がある塀ですか？		5	少し押しただけでもグラつく塀	

点検項目の1～10までに確認した○が多いほど安全度が低くなります。3つ以上でしたら専門家にご相談されることをお勧めいたします。点検内容が分からない場合はご連絡ください。

——— 地元を担当しています ———

# ブロック塀の診断カルテ

## A. 基本性能の診断〔基本性能値〕

診断項目	基準点	評価点
建築後の年数	10年未満	① 10
	10以上、20年未満	8 ( )
	20年以上	5
高さの増積み	なし	② 10
	あり	0 ( )
使用状況	塀単独	③ 10
	土留め・外壁等を兼ねる	0 ( )
塀の位置	塀の下に擁壁なし	④ 10
	塀の下に擁壁あり	5 ( )
塀の高さ	1.2m以下	⑤ 15
	1.2mを越え、2.2m以下	10 ( )
	2.2mを越える	0
塀の厚さ	15cm以上	⑥ 10
	12cm	8 ( )
	10cm	5
透かしブロック	なし	⑦ 10
	あり	5 ( )
鉄筋	あり	⑧ 10
	確認不能	0 ( )
控え壁・控え柱	あり	⑨ 10
	なし	5 ( )
かさ木	あり	⑩ 10
	なし	5 ( )
基本性能値 (①～⑩までの評価点の合計)〔 <sup>A</sup> 〕		

## B. 壁体の外観診断〔外観係数〕

診断項目	基準係数	評価係数
全体の傾き	なし	⑪ 1.0
	あり	0.7 ( )
ひび割れ	なし	⑫ 1.0
	あり	0.7 ( )
損傷	なし	⑬ 1.0
	あり	0.7 ( )
著しい汚れ	なし	⑭ 1.0
	あり	0.7 ( )
外観係数 (⑪～⑭の最小値)〔 <sup>B</sup> 〕		

## C. 壁体の耐力診断〔耐力係数〕

診断項目	基準係数	耐力係数
ぐらつき <sup>*1</sup>	動かない	1.0
	わずかに動く	⑬ 0.8
	大きく動く	0.5
耐力係数 (⑬～⑭の最小値)〔 <sup>C</sup> 〕		

\*1 診断する場合は、周囲に人がいないことを確認し、必ず前方へ押して下さい。

## D. 保全状況の診断〔保全係数〕

診断項目	基準係数	保全係数
補強・転倒防止対策等の有無	あり	⑭ 1.5
	なし	1.0
保全係数 (⑭～⑮の最小値)〔 <sup>D</sup> 〕		

## 診断結果の判定

1. 総合評点 (Q) を求めましょう。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{基本性能値} \\ \hline A \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{外観係数} \\ \hline B \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{耐力係数} \\ \hline C \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{保全係数} \\ \hline D \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{総合評点 (Q)} \\ \hline \\ \hline \end{array}$$

2. 総合評点 (Q) から、診断結果を判定しましょう。



安全性の判定と今後の対応			
フック	総合評点	判定	今後の対応
<input type="checkbox"/>	$Q \geq 70$	安全である	3～5年後にまた診断して下さい。
<input type="checkbox"/>	$55 \leq Q < 70$	一応安全である	1年後にまた診断して下さい。
<input type="checkbox"/>	$40 \leq Q < 55$	注意を要する	精密診断を行い、再度判定するか転倒防止対策等を講じて下さい。
<input type="checkbox"/>	$Q < 40$	危険である	早急に転倒防止対策を講じるか、撤去して下さい。

※ 診断結果は、あくまでも目安です。専門家による精密診断を受けると、より正確に判定できます。